

町民の皆さんにとって、より住みやすい、快適なまちづくりのため、31年度の取り組みとお金の使い道を計画しました。今回は、町が目指す5つのまちづくりに沿って紹介します。

松前の5つのまちづくり
子育て支援
安心して子どもを産み、育てることができるまちづくり
2

松前の5つのまちづくり
防災・防犯
1 安全・安心なまちづくり

New
図書館に子どもスペース設置
子育て

図書館「お話の部屋」仕切り工事 187万円
まちづくり女性会議での意見を受け、図書館内に子どもが声を出して本を読めるスペースをつくりたい。



New
学校教育充実のための人員配置
学校教育

スクール・サポート・スタッフ配置 157万円
外国語指導助手 (ALT) 配置 1,080万円
教員の負担軽減を目的に事務業務を補助するスクール・サポート・スタッフを新たに配置するほか、外国語教育の質を高めるため外国語指導助手 (ALT) を2人から3人に増員します。

New
プレミアム付き商品券の販売
子育て

プレミアム付商品券事業 800万円
消費税率が10%に引き上げられることで消費に与える影響を緩和するため、低所得者や3歳未満の子どもがいる世帯を対象に、プレミアム付き商品券を販売します(全国の自治体で実施予定)。町内で使えるお得な商品券です。詳細は決まり次第お知らせします。

New
保育・教育施設などの整備
学校教育
子育て

認定こども園施設整備補助 3億4,499万円
松前中改築工事 2億3,219万円
岡田小放課後児童クラブ新築工事 2億6,322万円
【認定こども園】北伊予地区(青葉幼稚園)で整備が予定されているため、整備にかかる費用を補助します。
【松前中改築】老朽化が進んでおり耐震化も行えないため、北校舎と南校舎の改築工事を行います。
【岡田小放課後児童クラブ新築】クラブの充実を図るため、新築工事を行います。



このほか、白鶴保育所エアコン設置工事、岡田小学校の屋外トイレ改修なども行い、快適な遊び・学びの環境を整えていきます。

New
子ども医療費の助成
子育て

子ども医療費 1億3,920万円
平成28年度から拡大した「中学生までの子どもの医療費無料化」を継続し、安心して子どもを産み、育てることができるまちづくりを進めます。

New
運転免許自主返納支援
安全

運転免許自主返納支援事業 396万円
運転免許証を自主返納する高齢者のうち、希望する人に対して公共交通機関の乗車券などを交付します(詳しくはP.19)。運転に不安がある高齢者が、免許証を自主返納しやすい環境を整えていきます。

New
街灯の整備
安全

街灯設置補修等工事 609万円
商店街関係街路灯整備 1,263万円
まちづくり女性会議の意見を受けて実施した、必要箇所の調査結果に基づき街灯の整備を行うほか、劣化している旧商店街街路灯の撤去、建て替え、移設工事を行います。



New
老朽放置建物の倒壊防止
住宅の耐震化の促進
防災

住環境改善事業 1,190万円
木造住宅耐震化促進事業 3,526万円
建物倒壊での災害を防ぐため、倒壊の恐れがある空家の除却(住環境改善)や木造住宅耐震化を行う人に工事費などを補助します(詳しくはP.22)。

New
災害時の生活再建支援
防災

被災者生活再建支援システム導入 157万円
災害時に町民の皆さんが少しでも早く元の生活に戻れるよう、被災証明書の発行や被災者台帳の作成を適切に行うため、県と県内市町で被災者生活再建支援システムを共同導入します。

New
地域防災力の向上
防災

第9分団消防詰所新築設計委託 426万円
小型動力ポンプ積載車の更新(2台) 1,232万円
各地区に設置している消防団詰所を統廃合し、新たな消防団活動の拠点整備をするための設計を委託して行うほか、消防団設備の充実強化を図ります。



New
幹線町道の整備
安全

町道西古泉筒井線道路改築工事 1億200万円
今後発生が予想されている南海トラフ地震などの大災害に備え、避難路・緊急輸送路として町道を整備し、安全で安心なまちづくりを進めます。

5

松前の5つのまちづくり

快適で、文化的で、
おしゃれな
まちづくり
おしゃれ・協働

New

都市公園施設の整備

快適

福徳泉公園園路灯修繕工事 400万円
ひよこたん池公園しがら改修工事 200万円

園路灯を水銀灯からLEDに換えたり、水辺を守るための改修工事を行ったりするなど、快適に公園を利用できるよう、老朽化した都市公園施設を改修します。



おしゃれなまちづくりの推進

おしゃれ

おしゃれなまさき推進事業 1006万円

28年度から引き続き、町の各種事業に「おしゃれなイメージ」を付加します。30年度は有明橋に有明公園の雰囲気とマッチするデザインの親柱・高欄を設置しました。



浄化槽設置整備の補助

環境

浄化槽設置整備事業費補助 3,399万円

生活排水による水質汚濁を防ぎ、水質を保全するため、公共下水道整備構想区域でない地域で浄化槽を設置する人に補助します(詳しくはP.23)。

4

松前の5つのまちづくり

みんなで
支え合う
まちづくり
コミュニティ

空家活用を支援

移住

地域交流拠点型支援 100万円
住宅型(県外からの移住者などを対象)支援 100万円

今後、空家が増加することが見込まれることから、地域コミュニティの活性化や移住促進を図るため、コミュニティ拠点や住宅として空家を改修する団体などに対して助成を行います(住宅型は県と連携)。



北公民館の補強改修

コミュニティ

公民館耐震化事業(耐震補強・改修工事など)1億5,170万円

北公民館の耐震補強、改修工事を行い、地域の人々の活動の場を確保します(北公民館は6月から耐震改修工事のため一時閉館します。詳しくはP.27)。



コミュニティ施設の整備

コミュニティ

コミュニティ対策事業 316万円

各地区の集会所、公園などの整備にかかる費用を助成します(本年度は、徳丸、恵久美、宗意原、大溝、鶴吉、横田地区のコミュニティ施設)。



古泉駅前を花いっぱい (農地を花畑に整備)

観光

花いっぱい事業(維持管理委託・整備工事など) 330万円

町のイメージアップを図るとともに憩いの場を創出するため、昨年9月に古泉駅南側農地を花畑に整備しました。今年度も事業を継続し、松前町を訪れた皆さんをいっぱいの花で出迎えます。



はんぎり競漕の魅力発信

観光

はんぎり競漕PR事業 291万円

県内高校生に参加を呼び掛け、28年度から始めた「はんぎり甲子園」の拡大を図り、はんぎり競漕の魅力をも町内外へ発信します。



ホッケーの普及促進

スポーツ

ホッケー普及促進事業関係 116万円

ホッケーの聖地まさきを目指し、国内の強豪チームを招いたホッケーイベントをはじめ、中四国、九州や関西地方の中学生を対象とした大会を開催し、ホッケーの普及啓発と競技力向上を図ります(詳しくはP.15)。

また、ホッケー場を利用した合宿や大会などの誘致を積極的に行っていきます。



3

松前の5つのまちづくり

賑わいと
活力のある
まちづくり
農水産業・観光

レンタサイクル事業の補助

産業

まさきレンタサイクル事業費補助 216万円

エミフルMASAKIに訪れた観光客などを対象にレンタサイクルを実施します。今月から利用料金の改定を行い、利用しやすくなりました(詳しくはP.19)。

はだか麦の商品開発 ブランド化

産業

はだか麦プロジェクト事業 1,000万円

平成28年度から進める「はだか麦プロジェクト」を継続し、店舗との商品開発や「はだかむぎゅ」の商品化を進め、ブランド化を図るとともに地場産品のPRを行います。

▶「はだかむぎゅ」とは、「はだか麦プロジェクト」で生まれた、はだか麦を使ったヘルシーなおやつ。現在は「押しはだか麦のレモングラノーラ」「えびとおおさパイ」「はだか麦味噌とくるみ餡クッキー」の3商品があります。

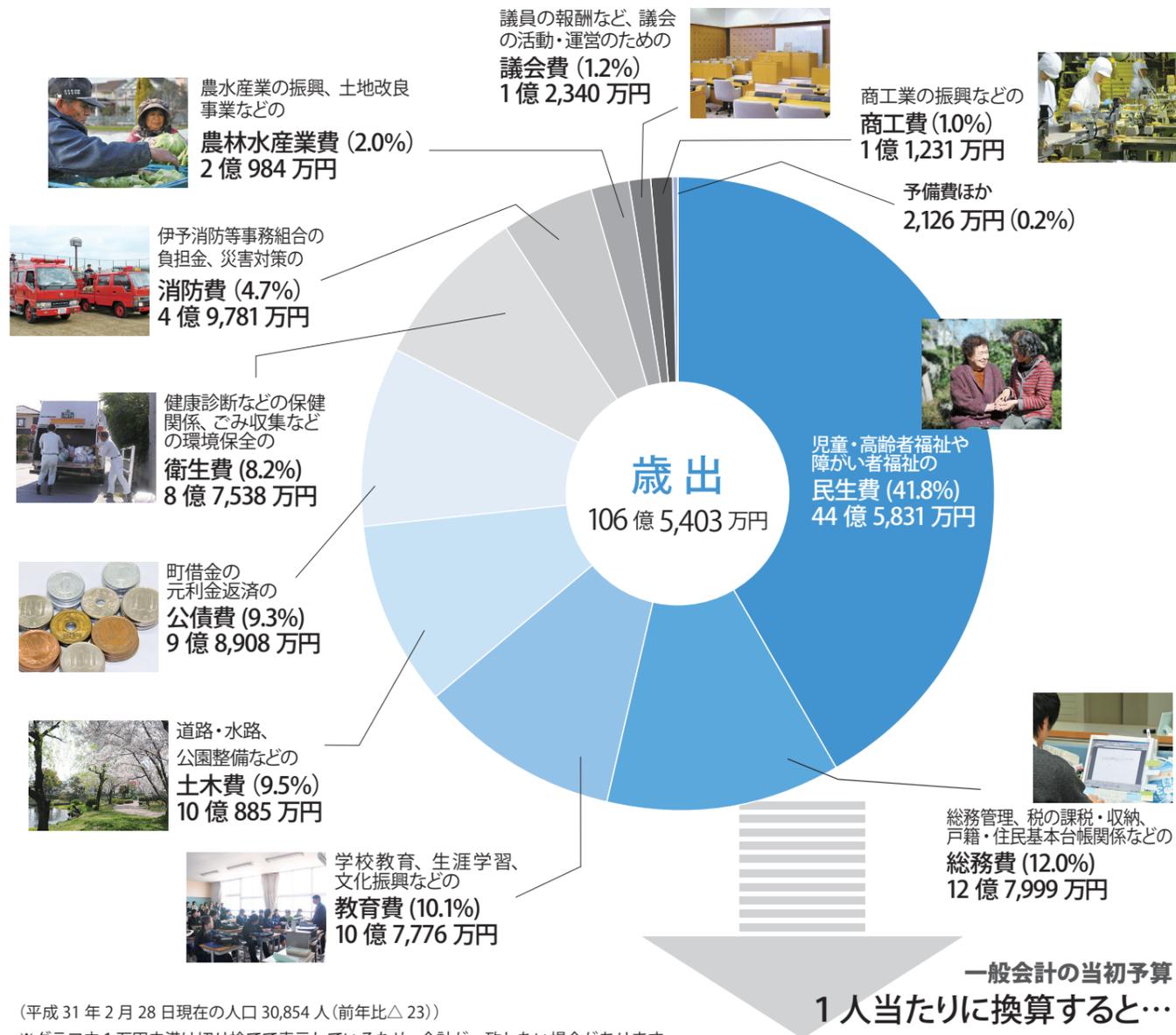


◀3月5日に黒田保育所で行われた試食会の様子。

平成 31 年度、まちのお金の使い道、一般会計当初予算は

106 億 5,403 万円 (前年比 6.4% 増)

※グラフ中 1 万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

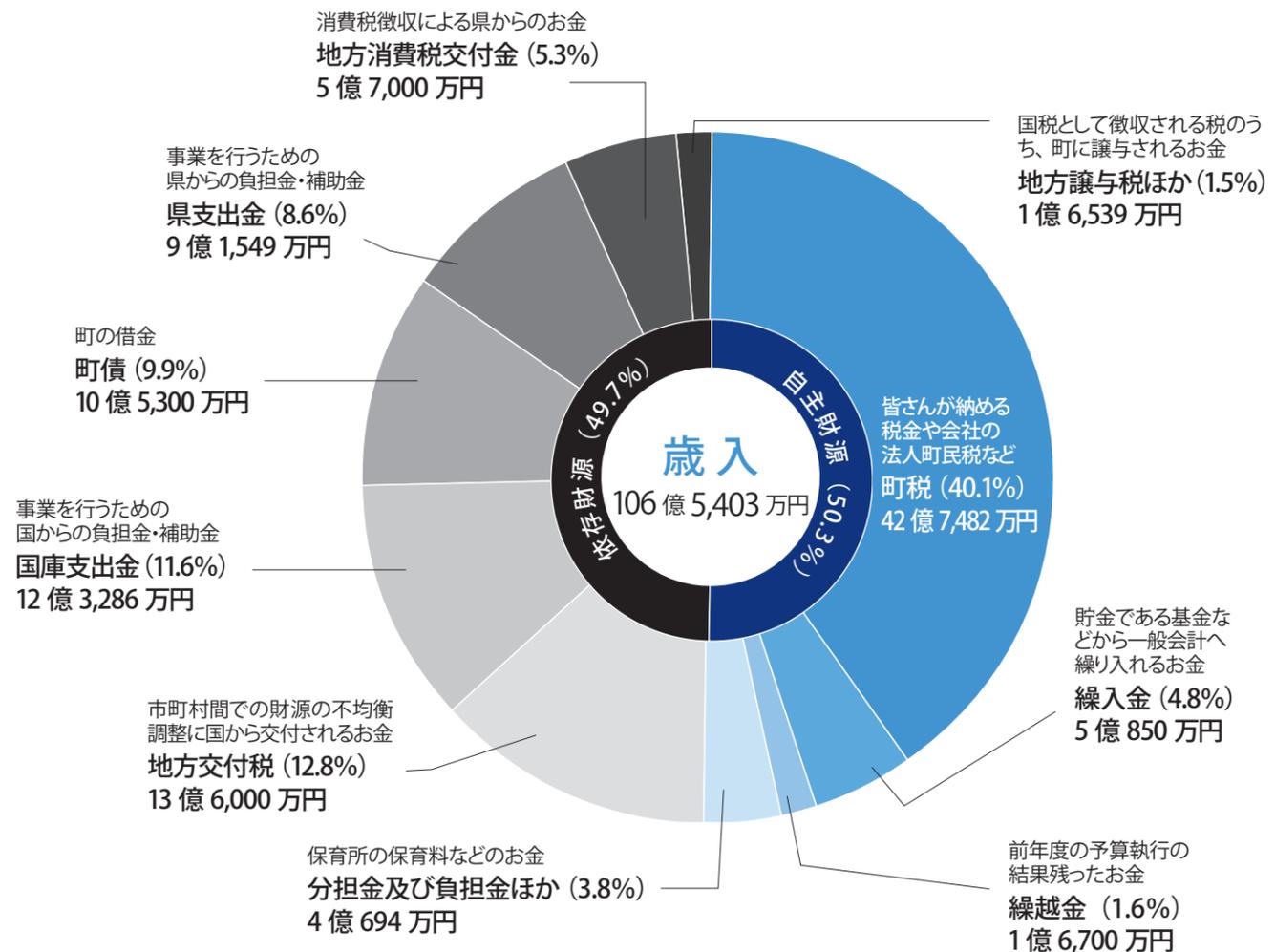


(平成 31 年 2 月 28 日現在の人口 30,854 人(前年比△ 23))
※グラフ中 1 万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

1 人当たり 345,304 円 ↑ 20,994 円 up	教育費 34,931 円 (前年比 4,588 円)	衛生費 28,372 円 (前年比 1,811 円)	議会費 3,999 円 (前年比 58 円)
民生費 144,497 円 (前年比 15,103 円)	土木費 32,698 円 (前年比 △ 736 円)	消防費 16,135 円 (前年比 905 円)	商工費 3,640 円 (前年比 488 円)
総務費 41,485 円 (前年比 △ 1,388 円)	公債費 32,057 円 (前年比 198 円)	農林水産業費 6,801 円 (前年比 △ 37 円)	予備費ほか 689 円 (前年比 4 円)

皆さんに知ってほしいこと

▶町は、まちをよりよくするため、31 年度に取り組むこと、町の進むべき方向を決めています。(町政方針) ▶そのためのお金のやりくりも計画済みです。(当初予算) ▶では、なぜ決まっていることをお知らせするのでしょうか。▶家庭で考えてみましょう。家族旅行のために節約することを、お母さんだけが計画して行動するよりも、お父さんも子どもも理解して一緒に行動する方が、節約も上手いくし、実現した旅行もずっと楽しいですね。▶つまり、町の目指すものも、町民みんなで共通認識を持って、一緒に行動する方が上手くいくのです。▶まちの主役は皆さんです。「みんなと一緒に」知って、行動しましょう。



平成 31 年度予算規模

	31 年度	30 年度	増減率
一般会計 (町の運営の基本的な経費を一つにまとめた会計)	10,654,035	10,013,982	6.4
国民健康保険特別会計 (国民健康保険の保険給付などを取り扱う会計)	3,458,517	3,255,088	6.2
後期高齢者医療特別会計 (後期高齢者医療の保険給付などを取り扱う会計)	449,989	453,339	△ 0.7
介護保険特別会計 (介護予防や介護に関するサービスを取り扱う会計)	2,789,563	2,606,400	7.0
公共下水道事業特別会計 (下水管や処理施設の整備費用を取り扱う会計)	855,631	770,935	11.0
特別会計 合計	7,553,700	7,085,762	6.6
水道事業会計 (企業会計) (安全でおいしい水を供給するための費用を取り扱う会計)	844,960	808,693	4.5
総 額	19,052,695	17,908,437	6.4